

令和2年度 第9回 理事会議事案

日 時：令和3年1月13日（水） 19：05～20：43

場 所：WEB

[出席者]

理 事：小嶺衛、立津統、末吉恒一郎、久高将臣、神谷喜一、山城忍、仲宗根美紀、金城良和、
當間智史、宮里由乃、比嘉俊文、南部路治、当真祐二、玉城すみれ、武富新太郎

監 事：仲 西 孝之、千知岩伸匡

書 記：上間聖子

WEB管理：上地誠之

定刻に司会者小嶺衛は開会を宣し、本日の理事会は出席者が定款第36条のとおり定数を満たしていたので有効に成立した旨を告げた。

議決に加わることの出来る理事数 15名

出席者理事数 15名

次いで定款第35条により、小嶺衛が議長となり、直ちに議案の審議に入った。

[審議事項]

- ・第1号議案 入会の承認に関する件 … **【資料ファイル1】**
- ・第2号議案 JPTA 2020年度協会賞受賞候補者の推薦について… **【資料1】**
- ・第3号議案 第22回沖縄県理学療法学会大会の開催方法並びに特別講演講師選定について
- ・第4号議案 ダイハツ健康安全運転講座に関する事業について

[報告事項]

1. 会長

※月次活動報告

2. 副会長

※月次活動報告

3. 事務局

※月次活動報告

・R2.9/7～10/12までの受付・発行文書 … **【収受・発行文書(原本)ファイル】**

・R2.9/1～9/30までの会員異動詳細 … **【資料ファイル2】**

・事務員の給与明細 … **【資料ファイル3】**

4. 社会職能局

※月次活動報告

5. 教育学術局

※月次活動報告

6. 各種委員会

第 1 号議案 入会の承認に関する件

提出日：令和 3 年 1 月 13 日		提出者：上間聖子	
担当局：事務局		担当部：総務部	
議案主題	入会の承認に関する件【資料ファイル 1】		
議案内容及び提出理由	【入会申請者】計 1 件 承認：1 件、 否認：0 件、保留 0 件 【会員動向】令和 3 年 1 月 4 日現在 ※連絡不能者含む ・在会会員数：1,561 名、施設所属会員数：1,405 名、自宅会員数 156 名 ・休会：218 名 ・会員所属施設数：278 施設 【期間会員動向】令和 2 年 12 月 1 日～令和 2 年 12 月 31 日 ※当協会入力状況から検索 異動：11 名（県内：9 名 転入：0 名 転出：2 名） （うち再申請：0 名 否認 0 名） 休会：4 名※休会継続含む 退会：1 名 復会：1 名		
審議内容	① 入会の可否について 上間）入会状況・異動会員状況について説明。 質疑無。		
審議結果	① 入会の可否について 全会一致で可決		
	担当局：事務局	担当部：総務部	
備考			

第 2 号議案 JPTA 2020 年度協会賞受賞候補者の推薦について

提出日：令和 3 年 1 月 13 日		提出者：末吉恒一郎	
担当局：表彰審査委員会		担当部：	
議案主題	JPTA 2020 年度協会賞受賞候補者の推薦について【資料 1】		
議案内容及び提出理由	JPTA より、2020 年度協会賞受賞者候補者の推薦依頼があった。表彰審査委員会で検討した結果、仲間理会員、溝田康司会員を候補者として挙げたため、ご審議いただきたい。 【表彰規程】 （１）協会賞は、会員歴 30 年以上（休会期間を除く）、かつ 55 歳以上の者で本会の活動、都道府県理学療法士会の活動において格段の功績のあった者で、次の要件のいずれかを満たすものを表彰する。 ア 本会の理事・監事、部長、委員長、小委員会委員長、分科学会・部門代表運営幹事を通算 6 年以上か、前述の 6 年未満の役員歴に加え、部員、委員、小委員会委員、ワーキンググループ委員、運営幹事および代議員等本会役員名簿に掲載される役員として通算 12 年以上従事している者で、その職務において優れた功績をあげた者。 但し、この場合において		

	複数の併任があった場合については通算年数とはしない。 イ 都道府県理学療法士会の理事・監事・局長・部長・委員長として通算 10 年以上従事した者で、かつ、本会役員名簿に掲載される役員を 2 年以上従事し、その職務において優れた功績をあげた者。但し、この場合において複数の併任があった場合について通算年数とはしない。 提出期限：2021 年 1 月 31 日（日） 当協会過去の受賞者：渡辺洋介氏（初代会長）、山城幸信氏（初代副会長）の 2 名 【候補者】 仲間理会員（2 代目会長）、溝田康司会員（3 代目会長） 【推薦理由】 仲間理会員：当士会発足時から理事を務め、平成9年に第2代社団法人沖縄県理学療法士会会長に就任された。平成10年には、第1回沖縄県理学療法学会の開催し、それまでの理学療法作業療法合同学会から単独での学会開催に大きくご尽力された。 溝田康司会員：平成13年に第3代社団法人沖縄県理学療法士会会長に就任。平成14年に、第24回九州理学療法士・作業療法士合同学会in沖縄の大会長を務めた。平成17年には、沖縄県地域リハビリテーション推進交流会が沖縄県の委託事業として修了し当会主催事業としてスタートするに際しご尽力された。平成19年からJICA草の根技術協力事業による「フィジー国理学療法士臨床技術研修」に向けての視察を行い、本事業の実現に多大な功績を残された。	
審議内容	① 2020年度協会賞受賞候補者の推薦者について 末吉）表彰審査委員会で話合ったところ、2 代目会長の仲間理会員と 3 代目会長の溝田康司会員が最適任では無いかとの意見が出ている。 当初仲間会員は辞退の意向を示していたが、小嶺会長よりお話したところ承知いただけており、推薦に際してご本人確認はできている。 久高）特に推薦者数の指定は無いのか。 末吉）年末にJPTAへ2名の確認をしたところ、2名の推薦可能との回答を得ている。 小嶺）お二人とも人物、経歴的に問題ないと思うので是非推薦したい。 他意見無	
審議結果	① 2020年度協会賞受賞候補者の推薦者について 全会一致で可決	
	担当局：表彰審査委員会	担当部：
備考	添付資料：2020 年度協会賞受賞候補者の推薦について	

第 3 号議案 第 22 回沖縄県理学療法学会の開催方法並びに特別講演講師選定について

提出日：令和 3 年 1 月 13 日	提出者：末吉恒一郎
担当局：第 22 回沖縄県理学療法学会	担当部：
議案主題	第 22 回沖縄県理学療法学会の開催方法並びに特別講演講師選定について
議案内容及び提出理由	第 22 回沖縄県理学療法学会は、COVID-19 感染流行の収束状況の予測が難しいことから、ハイブリッド開催としたい。また、オンライン配信する目的として、宮古、八重山支部会員や当日参加できない会員にも、学会大会に参加する機会を設け、研鑽の場を作り、質的担保を図ることが挙げられる。 そこで、下記の通り、開催概要並びに特別講演講師案を検討したので、ご審議いただきたい。 <開催概要>

	・大会テーマ：臨床と研究の有機的融合に向けて（仮） ・特別講演：臨床と研究の有機的融合に向けて（仮） 講師：畿央大学 教授 森岡 周 氏（予定） ・シンポジウム：臨床研究の意義と実践（仮） シンポジスト；未定 ・演題発表：優秀口述演題、一般演題 <開催時期> ・期日：2022年2月 <会場> ・会場：OIST（沖縄科学技術大学院大学）（仮） <開催方法> ・対面並びWEB配信のハイブリッド開催	
審議内容	①開催方法について ②特別講演講師の選定について 末吉）今年はCOVID-19感染拡大防止の為、ハイブリット方式でのWEB開催となった。来年度もCOVID-19感染の状況が不透明の常態であることを踏まえて引き続きハイブリット方式での開催を視野に準備を進めていきたい。 大会テーマ及び講師の候補者は畿央大学教授の森岡周氏を予定しており、内諾も得ている。開催時期は2022年2月を考えていたが、ポイント申請ができない時期との連絡が来ているので、前倒しで12月開催としたい。 小嶺）テーマと内容については、特に問題は無いと思うが、次期実行委員会で具体的内容を詰めてもらいたいと思う。しかし、開催方法と時期については現時点では決められないのではないかと。以前は総会との同時開催として行うことになっていたが、今点も念頭において検討して欲しい。 久高）ハイブリット方式での開催については、コロナ禍での開催方法としては妥当ではないか。会場としてOISTであればオンライン配線の問題が無いので良いのではないかと。 また、今年度は2会場での学術大会とのことであったので、総会とは別開催としたが、今後同時開催についても又検討していただきたい。 千知岩）県学会が盛んにおこなわれることで、学術誌にも今の倍の投稿が出るような内容にして欲しいと考える。 小嶺）来月の21回学会が終了すると同時に、次回の準備を進めていかなければいけない。現時点で決定できることとしては開催方法についてとテーマ・講師として承認を得てはどうか。 他に意見なし	
審議結果	①開催方法について ハイブリット方式での開催を視野に準備を行っていくことを全会一致で可決 ②特別講演講師の選定について 全会一致で可決	
	担当局：学術大会準備委員会	担当部：
備考	添付資料 第22回沖縄県理学療法学術大会事業計画書	

第 4 号議案 ダイハツ健康安全運転講座に関する事業について

提出日：令和 3 年 1 月 12 日		提出者：金城良和	
担当局：社会職能局		担当部：渉外事業部	
議案主題	ダイハツ健康安全運転講座に関する事業（新規事業）		
議案内容及び提出理由	事業目的として、専門的な立場から県民の健康の向上を目的とし、さらには、産（ダイハツグループ・JAF）官（自治体）学（理学療法士協会）民（地域社会）が連携して、地域に根ざした活動を行う。当事業を受託し、事業遂行する事で地域活動につながると考える。		
3 審議内容	① 事業受託に関する 認・否 ② 事業予算に関する 認・否 金城）事業について説明。 取りまとめを比嘉理事で行い、ダイハツとの窓口を上地部長に担ってもらっている。 比嘉）本事業を受託事業として実施したい。JPTA とダイハツグループが提携した覚書があり、それに沿って受託すると 1 回開催の費用が 1 0 万円となっている。 久高）この受託をすると収益が出てくるのであれば、今後の派遣に備えて補助者としていく方の謝金を出すことも可能になってくる。 比嘉）4 名派遣としても差額が出て来るが。 久高）事業計画にある感染予防に必要な物品購入費は 4, 000 円で収まらないのではないかな。 仲宗根）この中には管理費用、人件費などもあり、物品費用は雑費として計上しては。 久高）管理費として調整してはどうか。 千知岩）企画費、事務管理費として計上してはどうか。 久高）必要なものは経費で出して下さい。 比嘉）調整します。 小嶺）事務局と社会職能局で調整して無いお湯を理事会へ報告して下さい。事業計画として局での対応に問題はありませんか。 比嘉）問題ありません。 他に意見無		
審議結果	① 事業受託に関する可否 全会一致で可決 ② 事業予算に関する可否 全会一致で可決		
	担当局：社会職能局		担当部：渉外事業部
備考	事業計画書、予算書を別資料として添付		

公益社団法人 沖縄県理学療法士協会

会 長 小嶺 衛

監 事 千知岩 伸匡

監 事 仲 西 孝 之